

現代アフリカにおける
紛争のリアリティ

現代アフリカは、さまざまな紛争をどのように終結させ、紛争によつて悪化、激化した社会をいかに再建していくのかという困難な課題に直面しています。この講演会では、報道界と手裏で活躍されているお二人に、この問題について講演していただきます。

高尾 具成
Tomonari Takao

アフリカの紛争現場で感じた、
つながること、
つなげて考えることの大切さ

毎日新聞記者、1991年から広島

支局、神戸支局、大阪本社社会部、東京本社外信部などに勤務、被爆者や阪神・淡路大震災被災者、米国同時多発テロ、アフガニスタン空爆による難民・国内避難民などを取材。2008年3月～2012年3月には南アフリカ・ヨハネスブルク支局で勤務し、2008年度には、ジンバブエ大統領選挙などのアフリカ報道でボーン・上田記念国際記者賞を受賞。2012年から

は東日本大震災の被災地、岩手県釜石市に赴任。著書に「サンダルで歩いたアフリカ大陸：特派員ルポ」などがある。

2014年3月29日(土)

15:00～17:00

於：京都大学稲盛財団記念館3階 大会議室

○ プログラム ○

- 15:00 「アフリカの紛争の現在(いま)を考えるために」
遠藤貢(京都大学)
- 15:30 「アフリカの紛争現場で感じた、つながること、
つなげて考えることの大切さ」
高尾 具成(毎日新聞社)
- 16:30 質疑応答
- 17:00 終了

アフリカの紛争の
現在(いま)を考えるために

遠藤 貢

京都大学
大学院 総合文化研究科 教授 Mitsugi Endo

総合文化研究科 教授、専門は、国際政治、比較政治、現代アフリカ政治。南部アフリカにおける政治体制変動研究を行って来たが、ここ10年はどソマリアを中心とした「崩壊国家」に関する調査研究も行っている。主な共著書に『日本の国際政治学3 地域から見た国際政治』(2009年)など。



- ◆ 会場への経路案内
- 京阪「神宮丸太町駅」5番出口(出町柳方面)から北へ徒歩5分。
 - 京バス(京都駅)から市バス(205/17/4系統)で「荒神口」下車、東(荒神橋方向)へ徒歩4分。または京都バス(17系統)で「荒神橋」下車する。
 - 阪急「河原町駅」から市バス(59/37/17系統)で「荒神口」下車、東(荒神橋方向)へ徒歩4分。または京都バス(17系統)で「荒神橋」下車する。
 - 地下鉄烏丸線「丸太町駅」から市バス(204/202系統)で「丸太町京阪前」下車、北へ徒歩5分。

<http://www.africapotential.africa.kyoto-u.ac.jp/>

申込不要
入場無料